

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3 年次生 直野 恵利花

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2018 年 2 月 26 日から 3 月 10 日の約 2 週間、オーストラリアの NSW 州にあるキングスクリフを訪問したので報告致します。滞在中はホームステイをしながら語学学校である TAFE NEW North Coast Institute Kingscliff Campus に通い、薬学語学研修を行いました。

2. 語学学校

ニューサウスウェールズ州の最北に位置し、クィーンズランド州との州境にあるキングスクリフにある TAFE に通いました。TAFE とは、オーストラリアに 100 校以上ある州立の高等職業訓練専門学校です。TAFE では薬学、調理、マッサージ、美容などの実践的な能力を身に付けることができます。私はそこに月曜日から金曜日に通い、大学から研修に参加した 14 人で、英語や薬学だけでなくオーストラリアの地理や風土、アボリジニの文化など色々なことを学ぶことができました。一度、マッサージクラスの人たちと交流があり、互いの言語で話し合うことができました。また、現地の小学生との交流会があり、日本の文化を紹介する機会を設けていただき、一緒に折り紙を折りました。



図 1. 現地研修校



図 2.現地の小学生との交流

3. English Class

朝 9 時から授業が開始し、12 時まで英語の授業を受けました。授業では、単語の暗記や文法の勉強をしたり、週末の出来事を円になって話したりしました。単語や文法の授業は、受動的な授業ではなく、各々が発言する形式で、さらにかかるたやクイズのようなゲーム形式でも行われたのでとても楽しく、積極的に授業に参加することができました。また、苦手な発音の授業もあり、r と l の発音の違いや th と s の発音の違いなどを丁寧に教えていただき、早口言葉をして楽しみながら学習することができました。



図 3(左).4(右).授業風景

4. Pharmacy Class

薬学の授業では、オーストラリアの薬剤師の役割や薬局の仕組み、薬のスケジュールの分類、OTC の広告の作り方などを学びました。

オーストラリアの薬局には薬剤師以外にも調剤を補助する人がおり、薬剤師はより専門的な知識を必要とし、服薬指導や最終確認を行う責任が大きな地位にあると感じました。

実際に2か所の薬局を訪問し、薬局の仕組みについて、薬剤師から話をお聞きすることができました。日本と特に異なる点は2つありました。1つ目は薬局でインフルエンザのワクチンを接種することができる点です。オーストラリアでは、薬剤師もしくは登録された看護師が薬局内で

予防接種を行うことができます。2つ目は1枚の処方箋で複数回、薬を処方してもらえる点です。また、1枚の処方箋で1年分の薬を渡すことができます。この2つを組み合わせることで、病院に行く回数を減らし、保険料を抑えていると知りました。

薬は、オーストラリアでは細かく9つに分類されており、薬剤師でなくてもわかるように薬袋や箱に記載されていました。しかし、薬の取り扱い方は日本と大きな差はないように思いました。さらに、薬の入っている箱から色々な情報を読み取り、広告を作りました。



図 5(上). 薬局訪問

図 6(下). 広告作り

5. ホームステイ

TAFE での授業が終わると、ホームステイ先の家に帰りました。ホームステイは TAFE から車で 10 分くらいのところで、5 人家族でした。ホストマザーは私が通っていた TAFE の English Class の先生だったので、登下校は一緒に車で向かい、授業を受けました。ホストファザーも優

しく、子供たち3人も初日から色々話しかけてくれ、仲良くなることができました。また、歩いて5分のところにビーチやスーパーマーケットがあり、夕食後皆でビーチに散歩に行きました。TAFEは16時に終わり、その後は自由だったので、買い物に行ったり、アイスを食べたり、有名なビーチに行ってお飯を食べたり、カヤックをしたり、色々な体験をさせていただきました。オーストラリアでの生活は、日本とは大きく異なりました。まず、オーストラリアの人は夜9時には寝てしまい、朝早く起きるという日本にいる時とは違う生活スタイルでした。そのため、バタバタすることなく、2週間ゆったりと過ごすことができました。最初はまったく話していることがわからず戸惑いましたが、家族みんながゆっくり何度も英語で説明してくれたので、楽しい生活を送ることができました。また、English Classでは毎日宿題が出たので、長女の助けを借り、宿題をこなしました。その時も丁寧に教えてくれました。



図7.ホストマザーとファザーと

6. 最後に

今回が初めての留学だったので、不安も大きかったですが、ホストファミリーをはじめ多くの方が温かく迎え入れてくださりました。英語を学ぶだけでなく、色々な体験をすることができ、日本との類似点や相違点を知り、文化や慣習の違いも実感することができました。2週間という短い期間でしたが、自分の英語力を知り、伸ばすことができました。この留学で得たことを忘れることなく、今後の学生生活を過ごしていきたいと思えます。



図 8.一緒に行った大学の人たちと English Class の先生